

調査速報

外食需要動向（2016年10月）

牛丼大手による価格訴求キャンペーンが
家計の外食行動を強く刺激

主任研究員

佐橋 官

045-225-2375

sahashi@yokohama-ri.co.jp

要約

- 10月の家計の実質外食支出は単月ながら大きく持ち直した
- 外食産業では客数が大きく伸長し、売上高を押し上げた
- この先、外食産業では客数の伸びが売上高を押し上げる展開が続くと予想される

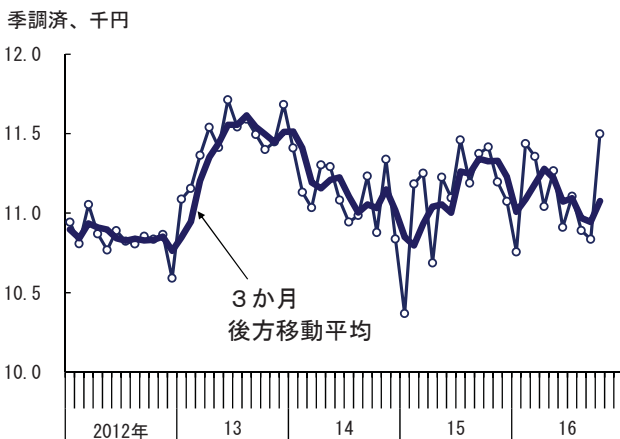
1. 10月の家計の実質外食支出は大幅な持ち直し

11月29日に総務省が発表した10月の「家計調査」によると、全国の1世帯あたり実質外食支出（2人以上の世帯、学校給食を除く、季調済）は前月比6.1%増と単月ながら大きく持ち直した（図表1）。前月のこのペーパーで述べたように、内閣府「消費動向調査」（2016年9月調査）によると、家計の外食マインドはこの16年第4四半期に大幅に改善することが見通されている。10月の外食支出の増加はこのような家計の外食マインドの持ち直しを受けたものとみられるが、当月はそれに加えて、後述のように牛丼大手が大規模な価格訴求キャンペーンを実施したことも家計の外食行動を強く刺激したと考えられる。

2. 外食産業では客数が大きく伸長

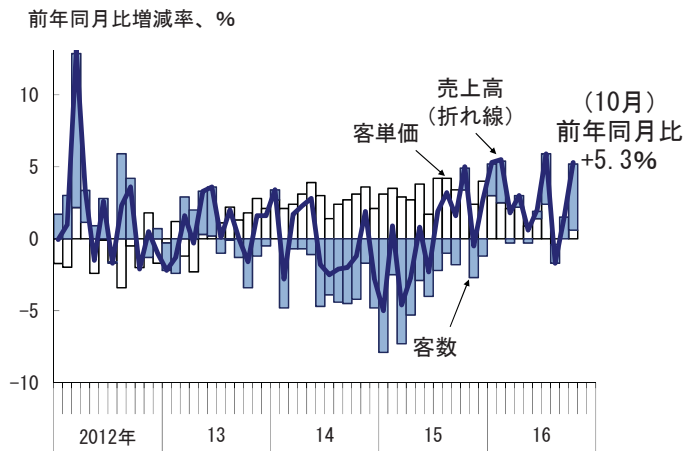
一方、一般社団法人日本フードサービス協会が11月25日に発表した10月の外食産業売上高は前年同月比5.3%増となった（図表2）。売上高の伸びを客単価と客数の増減率に分解すると、客単価（同0.6%増）は小幅な伸びに留まったものの、客数（同4.6%増）が大きく伸長し、これが売上高を押し上げた。この背景には前年に比べて当月は休日数が1日多かったことに加え、外食企業による低価格メニューの拡充や割引クーポンの配布等の価格訴求キャンペーンの実施が引き続き功を奏したことがあると推察される。

図表1 実質外食支出は前月を大きく上回った
（全国、2人以上の世帯、季調済）



注1：学校給食を除く外食（一般外食）。
注2：実質化と季節調整は浜銀総合研究所が実施。
出所：総務省「家計調査」より浜銀総合研究所作成

図表2 外食産業売上高は前年同月比5.3%増
（全国、全店）



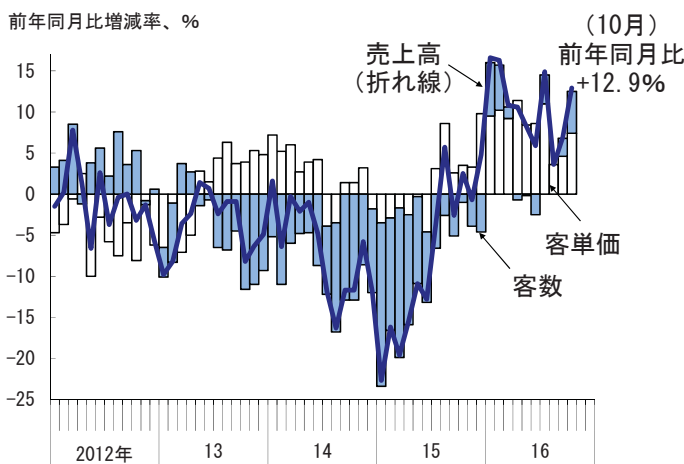
注1：全店とは、既存店と新規店の合計。
注2：売上高と客単価は税抜き価格による比較。
出所：一般社団法人日本フードサービス協会
「外食産業市場動向調査」

3. ファストフード業態が外食産業売上高の伸びを牽引

外食業態別の動きをみると、ファストフード業態の売上高が外食産業全体の売上高を牽引した。10月のハンバーガー類をはじめとする洋風ファストフード売上高は前年同月比12.9%増であった(図表3)。同業態では客単価と客数の両方が前年同月を上回る状況が続いている。低価格メニューの拡充等の価格訴求だけでなく、過去に販売したメニューの復刻キャンペーン等の付加価値の高いメニューの提供が顧客の支持を集めていると推察される。

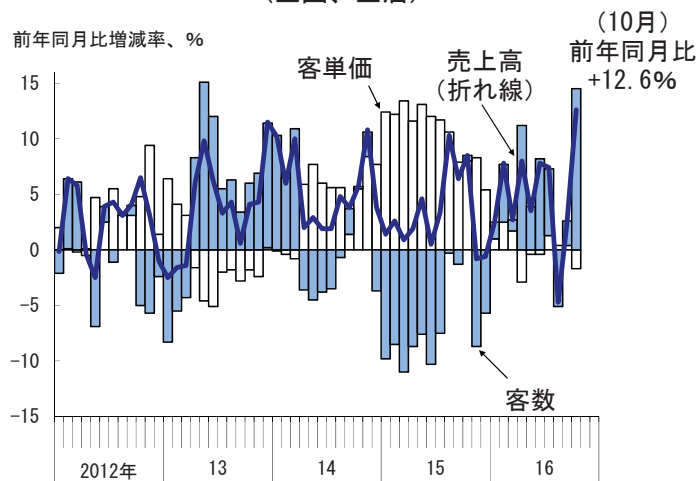
また、牛丼をはじめとする和風ファストフード売上高は同12.6%増であった(図表4)。客数が同14.3%増と高い伸びを示しており、10月に実施された牛丼大手による大規模な価格訴求キャンペーンが業態全体の客数を押し上げたと推察される。なお、この価格訴求キャンペーンは当月(10月)で終了しており、同業態売上高の高い伸びは一時的な動きに留まる可能性が高い。

図表3 洋風ファストフードでは客単価と客数の両方で持ち直しの動きが続く
(全国、全店)



注1：全店とは、既存店と新規店の合計。
注2：売上高と客単価は税抜き価格による比較。
出所：一般社団法人日本フードサービス協会
「外食産業市場動向調査」

図表4 和風ファストフードはキャンペーン効果で客数が大幅伸長
(全国、全店)

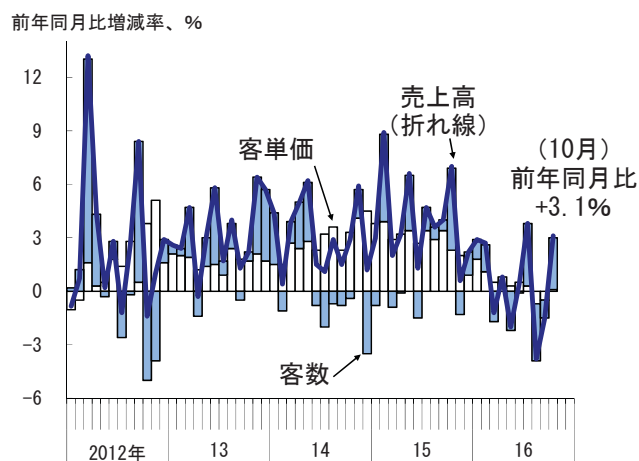


注1：全店とは、既存店と新規店の合計。
注2：売上高と客単価は税抜き価格による比較。
出所：一般社団法人日本フードサービス協会
「外食産業市場動向調査」

また、ファミリーレストラン売上高は前年同月比 3.1%増と3か月ぶりに前年水準を上回り(次頁、図表5)、ディナーレストラン売上高は同 5.3%増と2か月連続で前年を上回った(次頁、図表6)。両業態とも価格訴求策により客単価の伸び悩みが続いているものの、客数が高い伸びを示した。

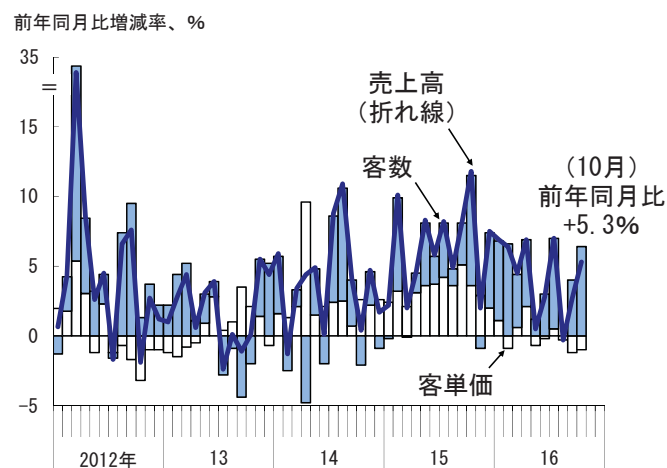
この先、外食企業による価格訴求策の継続と家計の外食マインドの改善の進展を背景に、外食産業では客数の伸びが売上高を押し上げる展開が続くと予想される。これに加えて、外食企業による年末年始に向けた各種のキャンペーンが家計の外食需要を一段と刺激し、外食産業売上高の伸びを後押しすることが期待される。

図表5 ファミリーレストラン売上高は
3か月ぶりに前年同月を上回った
(全国、全店)



注1：全店とは、既存店と新規店の合計。
注2：売上高と客単価は税抜き価格による比較。
出所：一般社団法人日本フードサービス協会
「外食産業市場動向調査」

図表6 デイナーレストラン売上高は
2か月連続で前年同月を上回った
(全国、全店)



注1：全店とは、既存店と新規店の合計。
注2：売上高と客単価は税抜き価格による比較。
出所：一般社団法人日本フードサービス協会
「外食産業市場動向調査」

本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。